

への対応や国連が定める持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)に直接的、間接的に貢献し、持続可能な社会の実現を目指すことにつながると考えております。

これらの方針のもと、「本委員会」は当社の取締役や執行役員などで構成し、「持続的社会貢献可能戦略推進室」を管掌する役員を委員長とする当社取締役会のもとに設置され、当社グループの経営戦略の一環としてサステナビリティの重要課題(下表参照)について議論し決定するだけでなく、サステナビリティへの取り組み状況の確認や審議を行い、その内容は取締役会で報告されます。また、本委員会の下部組織として、重要課題に係る分科会を適宜、設置して、サステナビリティ活動を積極的に推進してまいります。

<当社グループにおける重要課題と主要な取り組み>

※参照:統合報告書 2022

重要課題	主要な取り組み
<p>①脱炭素社会実現への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆脱炭素に向けた取り組みを支える製品・サービスを開発・提供(再生可能エネルギー利用促進、温室効果ガス削減、エネルギー有効利用) ◆自社のグローバルでのCO₂排出量を削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●再エネ製品の開発・提供 ●地域でのエネルギー効率最適化の追求 →地域マイクログリッド ※③にも該当 ●RE100 実現に向けて: <ol style="list-style-type: none"> 1 省電力生産の強化 2 自家消費型太陽光発電システムの導入拡大 3 サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減
<p>②資源循環型社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自社製品の省資源、省エネルギーの追求 ◆蓄電池のリユース・リサイクルを促進 ◆省エネ技術への取り組み促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●原材料の利用効率最大化(設計、リサイクル) ●製造工程での廃棄物削減と資源還元への推進 ●サプライチェーン全体での資源利用効率向上(工程改善、設計への取り込み) ●中古リチウムイオン電池の再利用を促進するための診断装置の開発 ●エネルギーのロスである排熱に着目したエネルギーハーベストシステムの開発
<p>③レジリエンス(復旧・減災)強化への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆災害等による停電時に住宅、施設、地域で電力確保をするための製品の開発 ◆当社製品の安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギー製品の開発・提供 ※①にも該当 ●電気自動車の電力を災害時に活用することができる製品の展開(V2H・V2G) ●レジリエンス強化に必要な産業用蓄電システムの提供 ●BCPの強化と継続的改善、サプライチェーンの強靱化 <ol style="list-style-type: none"> 1 材料の現地調達・現地生産の推進 2 内製率の向上
<p>④多彩な人財が生き生きと働ける会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国籍・性別・年齢・身上等にかかわらず、多様な人財が物心両面の幸せを追求できる企業を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ●国籍・性別・年齢・身上等にかかわらず、当社の存在意義・経営方針に共感し、ポテンシャルを有する人財の採用を推進 ●傍楽(働く)仲間達が能力をフルに発揮できるような働き方・職場環境・職務内容・人事諸制度の整備 <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭環境に応じた”在宅勤務”の設計 2 外国籍・障がい者の働く仲間達への生活ケア

以上